

# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第44号 平成19年9月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## 幼児期の環境学習・体験におけた意見交換

- ・ 達目洞の自然を幼児と楽しむ（7月11日）
- ・ 幼児期に自然体験をさせるために・・・

## ○達目洞の自然を幼児と楽しむ

7月11日（水）に岐阜市立岐阜北幼稚園において、園児への達目洞の自然の紹介&保護者並びに先生と一緒に幼児期の自然環境体験についての意見交換会を行いました。

達目洞の自然環境は、達目洞自然の会代表の石田明靖さんに紹介していただきました。達目洞には「ヒメコウホネ」をはじめ、カヤネズミやスナヤツメ、モリアオガエルなど多種多様な生きものがすんでいることを幼児にもわかりやすく丁寧に説明されると、子どもたちは一つひとつに頷きながら聞き入っていました。

また、岐阜北幼稚園周辺に生えている植物を子どもたちに見せながら、私たちの周りに、いかに外来の植物が多いかを説明しました。普段見慣れている植物が外国から来たものだと思った子どもたちからは「え～」という驚きの声も聞かれました。また、一緒に説明を聞いていた保護者の方も、幼稚園周辺に殆ど在来の植物が見つからなかったことに驚いていました。

**身近な自然を知ることから興味が広がり、環境を見つめ直して、子どもの頃から身近な自然に触れてもらいたいものです。**



**園児&保護者に達目洞の自然を紹介しました**



**幼稚園のまわりには外国から来た植物がいっぱい！みんなビックリです！**





## ○幼児期に自然体験をさせるために・・・

達目洞の自然紹介が終わった後には、保護者の皆さんや先生と一緒に「幼児期に自然環境体験をするために必要な支援」について意見交換をしていきました。旗揚げアンケートをしていくと、多くの保護者は子どもに対して自然環境体験をさせたいという希望を持っているが、実際体験をするとその機会に巡り会えないという意見が出されました。

より充実した自然環境体験を行うための意見としてはおおむね次のような事があげられました。

- ・ 保護者も一緒になって（特にお父さん）も一緒になって環境体験の計画を作る。
- ・ 幼児が参加することを前提に、安全管理について十分配慮した計画を検討する。
- ・ 自然のことについて現地で解説をしてもらえると、俄然体験の面白さが増す。
- ・ 保護者にとっては、現地にトイレがあるかどうかは重要である。

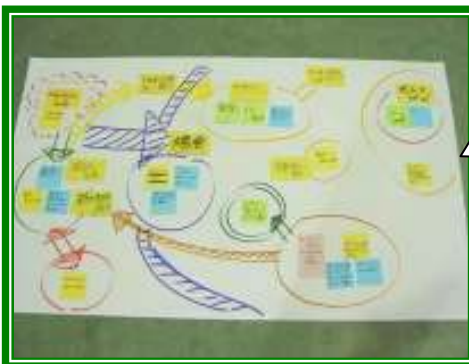
自然体験を計画する際には、これらについて十分配慮することがイベントを成功させる大きな要素になりそうです。

## ○おわりに

今回の意見交換で、幼児期に自然体験をさせてあげたいという保護者のニーズはかなり高いことがわかりました。そのニーズに対し、機会を提供する幼稚園

やNPOは、どの様な点に配慮すべきか考える必要があります。特にお父さんも一緒になって楽しめるようなイベントのニーズは高そうでした。

旗揚げアンケートや模造紙を使った意見交換で「幼児の自然体験」について意見交換をしました。



保護者の方からは、なかなか自然に触れる「機会」がないという意見や、現地で自然の解説をしてくれる講師がいると、よりよい活動になる、という意見が出されました。

## 岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html